

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（社員）	・4月から携帯電話向けの地上デジタル放送が開始されるため、対応機種の上増加が期待できる。
	やや良くなる	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・歳暮ギフトが好調な動きを示しており、確実に景気は底打ちから回復へ向かっている。
		百貨店（営業担当）	・メーカーや問屋が数年来の不景気感から、商品の供給量を通常の60～70%に抑えていることが若干の懸念材料であるが、消費者の購買意欲は確実に高まっていく。
		百貨店（営業担当）	・雪が早く降り始めたため冬は早めに終わり、ヤングの春物の立ち上がりの数字が良くなる。しかし、ミセス商品は厳しい状態が続く。
		百貨店（営業担当）	・駅前を含む中心商店街ではアーケードの更新、地下駐車場の整備などにより活性化が期待できる。
		スーパー（店長）	・景気や給与に安定感がみられ、消費単価が上昇しているが、この傾向はしばらく続く。
		衣料品専門店（経営者）	・雪が降ったにもかかわらず、ますますの売上があり、この流れからみて3月には客に活気が出てくる。
		家電量販店（経営者）	・前年に比べ単価が上昇している商品はテレビ、洗濯機、ファンヒーターであり、低下している商品はパソコン・パソコン周辺機器、DVD、ビデオカメラ、デジタルカメラなどである。商品による差はあるものの、全体では販売数量の伸びと売上金額の伸びがほぼ連動しており、単価の下落も止まったとみられるため、先行きはやや明るい。
		乗用車販売店（総務担当）	・1月発売の新型車は販売対象を女性や若年層から団塊世代にまで広げており、売上増大が期待できる。
		乗用車販売店（経理担当）	・季節的な増加要因もあるが、モデルチェンジ車の登場により1～3月には従来の状況を打破する売上増加が期待できる。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・各地域の基幹産業である製造業が堅調で、そこに所在する店舗も好影響を受けて緩やかな回復に向かう。
	観光型旅館（スタッフ）	・最近では予約が直前になって動くケースが多いため楽観できないが、1月以降の予約状況は前年を上回っている。	
	変わらない	スーパー（店長）	・寒さが続くと、灯油・ガソリン価格の値上げが食品の購入に悪影響を与える。
		スーパー（営業担当）	・今後寒さが続けば、値上がりの続く灯油代の増加が食品の購入に響く。
		スーパー（副店長）	・客が新年に購入する予定の冬物商材を12月に先買いしたとすれば、1月以降の冬物商材のバーゲンが低迷する懸念がある。
		高級レストラン（スタッフ）	・1月上旬から3月上旬までの閑散期に通常ポイントの3倍の食事券配布キャンペーンを行う予定であるが、回収に約半年を要するため、すぐに効果は出ない。
		一般レストラン（スタッフ）	・12月は予想外の雪により野菜の入荷や物流等に影響があり、原価や光熱費等が上昇した。しかし、今後よほどの大雪にならない限り、2、3月は通年どおりに推移する。
		スナック（経営者）	・客の業種が二極化しており、新年も多忙という人がいる半面、厳しい状態でなかなか来店できないという声も聞かれる。当面はこの状態が続く。
		観光型旅館（経営者）	・予約件数は前年比で増えているが、1組当たりの人数が少なく、予約人数では前年並みになっている。
都市型ホテル（スタッフ）		・レストランの利用客の増加傾向が前年並みに減速し、新年会などの受注も減少している。一方、婚礼宴会の受注件数は増加に転じたが、1件当たりの売上高では減少している。全体としてはほぼ前年並みとなる見通しである。	
都市型ホテル（スタッフ）		・宿泊、一般宴会の予約状況は弱含みで推移している。	
旅行代理店（従業員）		・旅行の予約状況は例年並みである。	
タクシー運転手	・この先の天気予報では厳冬により積雪量が多くなり、タクシーの利用客が増加する。		
タクシー運転手	・天候の悪化によるタクシー利用客の増加は一時的なものに終わり、今後は燃料の高騰など厳しい状況が続く。		
通信会社（役員）	・デジタルテレビの売行きと当社のケーブルテレビの新規契約数は比較的相関しており、現在の量販店におけるデジタルテレビの好調な販売状況から判断して、この流れはしばらく継続する。		

	テーマパーク（職員）	・個人客の動きは良いが、団体・グループ客が鈍く、全体としては今後変わらない。	
	パチンコ店（店員） 住宅販売会社（従業員）	・今後の雪の降り方によって来客数が大幅に変動する。 ・積雪の影響から客の動きは鈍いまま推移する。	
やや悪くなる	スーパー（店長）	・大手スーパーの攻勢が激しいため、地元の食品スーパーはますます厳しくなる。	
	コンビニ（経営者）	・近隣にライバル店が開店するため、客の奪い合いから売上は若干減少する。	
	乗用車販売店（経営者）	・客の動きは軽自動車と高級車にますます二極化していく。高級車は輸入車、国産車とも客の奪い合いが激しく、収益確保がますます厳しくなる。	
	住関連専門店（店長）	・「景気は良くなっている」と言われているが、現状では家具などの耐久消費財まで及んでいない。先行きも厳しい。	
	競輪場（職員）	・入場者数の減少に歯止めがかからず、大口の車券購入者もほとんどみられないため、期待できない。	
悪くなる	商店街（代表者）	・大手百貨店の撤退、大手航空会社の東京ルートの減便など、地元にとってマイナスの要素が続く。	
	商店街（代表者）	・この雪は春まで解けそうになく、外出控えによる買物客の減少が心配される。通常でも売上が減少しているときに追い打ちがかかり、小売店にとっては極めて厳しい状態が続く。衣料品は年明け早々にバーゲンに入るため、現在の売上減をとてカバーできない。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・早い冬の到来で、防寒ウェア等を中心に動きがみられ、今後の消費の活発化に好影響を及ぼす。
		通信業（営業担当）	・最近特に交換機やLANなどの大型需要がみられ、企業の設備投資に期待が持てる。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・年度末の3月に向けて数件の新規出店が計画されており、折込枚数の増加が期待できる。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・婦人衣料のファッションは非常に多様化しており、1か月先は読めないが、スポーツ衣料には期待が持てる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・売上は前年から一貫して右肩上がりとなり、今秋からは高原状態のまま強含みで推移している。この状態は当面変わらない。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・2月までは受注が好調であるが、それ以降は不透明である。
		精密機械器具製造業（経営者）	・眼鏡の材料、部品などのサプライヤー各社から、今後産地の完成品メーカーで量的拡大が行われるという情報が聞こえてこない。
		建設業（総務担当）	・構造計算の偽装問題で、確認申請の審査期間の長期化が予想され、短期的にはマイナスの影響が懸念される。
		輸送業（配車担当）	・食料品等で共同集配が進んでいるため、輸送回数の増加は期待できない。
	通信業（営業担当）	・携帯電話のサービスで起爆剤となるものが当面見当たらない。	
	金融業（融資担当）	・民間工事の増加基調が続く、ここ数年低下が続いてきた生コン価格も今後着工する大型工事でも若干ながら引上げ方向にあるなど、素材価格の上昇が広がり始めている。	
	司法書士	・個人の住宅取得の案件は増えているが、企業関係の不動産登記案件が増える兆しはみられない。	
やや悪くなる	建設業（経営者）	・アスファルト舗装工事の主要資材であるアスファルト合材価格が、原油価格高騰のあおりで何回も値上げされ、3月に向けて完成する工事の採算悪化は避けられない。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・人材派遣、職業紹介とも需要は堅調であり、今後、人材確保が最大の課題となる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・企業側から新卒採用や3月ごろの中途採用の話が若干聞かれる。また、求職者の動向をみながら慎重に採用活動を検討する企業が今後増加する。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者） 職業安定所（職員）	・ここ数か月間の求人広告件数は前年比で20～30%低下しており、当面は良くない状態のままで推移する。 ・学卒求人の内定率が大幅に増加し、特に技術系の学卒者確保に奔走している企業の姿はバブル期を思わせる。しかし、自営業の求職者が前年比100%を超え、厳しい零細企業の現状をみると、本格的な回復に向かうとは言えない。

やや悪くなる	職業安定所（職員）	・常用雇用の割合が上がらず、今後も非正規型の求人の増加傾向が続く。
悪くなる	職業安定所（職員）	・3月末までに従業員100人以上の数社で企業整備が予定されている。